

自治連よなご

第56号

平成31年(2019年)3月1日発行

発行 米子市自治連合会
(事務局 米子市総合政策部地域振興課内)

編集 『自治連よなご』編集委員会

米子市自治連合会常任委員視察研修報告

米子市自治連合会研修委員長 松本 眞

平成30年度の常任委員視察研修は11月6日、7日の2日間、日本の地方都市の中では珍しく年々人口が増加し、現在人口約83,000人、世帯数約32,000世帯の滋賀県南西部に位置する守山市を訪問しました。

当市は、電車で京都まで25分、大阪まで55分と交通アクセスの発達で利便性が増し、また、医療・教育機関の充実により若い世代を中心に毎年人口が増え続けています。歴史や自然に恵まれ、駅前周辺の市街地でもホテルが乱舞する豊かな自然環境、伝統文化も受け継がれ、近年は便利な都市機能も加わってさらに発展し続けていると伺いました。

研修では、事前に質問書を送っており2時間余りに亘って市の担当者や自治連合会の方から説明を受け活発な意見交換を行うことができました。

私達が特に注目したのは、自治会加入率が95%と極めて高いこと、70ある自治会すべてで自主防災組織が結成されていること（結成率100%）でした。そこには「住みやすさ日本一が実感できるまち」の実現を目指して市行政と自治会組織が連携して情報交換、財政支援など意欲的に取り組んでおられる姿勢を垣間見ることができました。平成25年には市内7つの学区ごとに話し合いが行われ「守山まるごと活性化プラン」が策定され住民の手作りによるまちづくり活動が行われています。

今回の研修で、両市の歴史、風土、財政規模などの違いを認めたくえで参考になることを今後の私達のまちづくりや自治会活動に生かしていきたいと思いました。



Q 地区会館の運営の仕方、機能について

A 行政と自治会を結ぶ重要な拠点、地域コミュニティの拠点、社会教育・学習の拠点と位置づけ、職員5人体制（公民館職員併任）で自治会費、交付金などを財源として運営を行っています。

Q 守山市の自治会加入率について

A 住宅が開発される場合は、開発行為指導審査会の要件に自治会加入協議を付与しています。また、転入・転居受付時に居住地の自治会長名、連絡先を記載した自治会加入の案内を手渡し、加入を勧めています。



Q 自主防災組織の組織率と特色のある活動について

A 結成率100%（70自治会）です。自治連合会と市は自主防災組織の防災知識の向上や防災行動力の向上を図るため、消防署や消防団の協力を得て、年に2回「自主防災教室」を実施しています。

「住んで楽しいまちづくり」



尚徳地区 青木自治会

ここ青木自治会では11月22日に災害発生時に役立つ支え愛マップ作りを初めて行いました。これにより地域の防災意識が高まり災害時における地域力の向上が期待できます。



彦名地区 彦名11区自治会

平成22年4月に中海アダプトプログラム参加団体（クリーンチームHATTANBA）として認定を受け、その後、毎年1～2回の中海清掃活動を行い環境美化に努めています。



永江地区

11月25日（日）に永江地区防災訓練を、全自治会参加で実施しました。消防車・煙テントでの避難訓練・救命訓練など、子ども達も一緒に体験しました。



成実地区

今年は異常気象の影響で葉桜状態、台風並みの強風の中、地域の有志の方々の舞踊、演奏や歌声、バザーなどの協力により「第30回成実さくらまつり」を盛大に開催しました。



富益地区

富益地区自治連合会

昨年11月4日、地区を3区分し「認知症行方不明者搜索模擬訓練」を実施しました。訓練結果は参加者175名、操作時間は放送から50分以内で発見されるなど実のある訓練でした。



明道地区

法勝寺町自治会

2ヶ所あるお地蔵さんに季節の花を手付け、周辺を清掃し気持ち良くお参りしていただけるよう心掛けています。子ども達も手を合わせお願い事をしています。



福生西地区

福生西一区自主防災会

自主防災会の活動として、福生西小学校の児童の下校時の見守り活動を行っています。特に一年生については、帰宅経路を3つに分け、担当者を決めて自宅に入るのを確認します。



淀江地区

淀江地区2区自治会

文化祭で「餅つき大会」を開催しました。夫婦、親子で交替しながら和気藹々と沢山の餅をつきあげました。皆で美味しい餅を食べ笑顔があふれる一日となりました。

医療・保健・福祉 ホスピタウンネットワーク



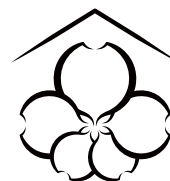
医療法人
社会福祉法人

真誠会

米子ホスピタウン（河崎） 弓浜ホスピタウン（大崎）
米子中央ホスピタウン 外浜ホスピタウン 高齢者生活支援隊
（西福原、富士見町、皆生） （和田町、富益町、夜見町）

米子市河崎580 TEL 0859-24-5666 <http://www.hospitown.or.jp/>

家族想いの葬儀



家族葬

さくら

鳥取県米子市内町124 | TEL 0859-36-6611 | HP <https://sakura-gr.net>

就将地区

地域の宝「城山」を守ろうと、5月中旬に皆で城山山頂に登り、清掃実施。きれいになった城山と米子の景色を眺めると改めてこの素敵な宝を守らなければと思います。



巖地区

子供たちに「巖」という地域を感じてもらうため、わら馬作りや餅つき、さいの神さん祭りをしています。親子で参加される方も多く盛会です。

(11月～12月)



住吉地区

安倍自治会

とんど行事は成人の日と前日の日曜日に行います。一日目の神輿巡幸は各家庭を回り、繁栄を願い親睦をはかる、二日目はとんど焼きをし、無病息災、五穀豊穡を祈ります。



大和地区

大和地区では毎年8月第1日曜日に淀江町佐陀の海岸清掃を行っています。自治会だけでなく地域の事業所や企業の参加もあり、年々活動の輪が広がっています。

五千石地区

諏訪一区自治会

22世帯、参加者は乳飲み子から初老まで40～50名、「男性が女性をもてなす」から始まった忘年会も40数年、世代交代もスムーズ、いつまでも行ってほしいものです。



河崎地区

正月3日、一年の地域防災と安全を祈念して河崎校区連合自治会の自衛消防団・防災部による出初式を行いました。そのあと、地域の役員と互礼会を開催しました。



加茂地区

加茂4区自治会

毎年文化祭を開催しています。会員の作品を展示し、青空市場で野菜・果物・焼き芋を販売し、おにぎり・豚汁をサービスしています。



崎津地区

四年に一度のしめ縄取替えの年、2,500束のワラで15日間かけて完成させた。氏子の皆様、先輩方の御協力と御指導のお蔭で立派なしめ縄を大崎神社へ奉納する事が出来ました。



「安心葬儀」“小さな葬儀”から“大きな葬儀”まで

ぴあべール

会館葬・自宅葬・寺院葬

(代) ☎ 39-2222

ぴあべール米子
米子市両三柳103

ぴあべール・はまゆう
米子市富益町2258-1

こうほうえんは2014年度日本経営品質賞大規模部門（鳥取地区／介護）を受賞しました

Kohoen

社会福祉法人 こうほうえん

法人本部事務局

鳥取県米子市両三柳1400番地

<http://www.kohoen.jp>

TEL 0859-24-3111

challenge



| | | |
|----------------------|---|--|
| 平成30年度 秋の叙勲 旭日単光章 受賞 | 住吉地区 元・旗ヶ崎三区東自治会 | 会長 小林 壽 氏 |
| 平成30年度 総務大臣表彰 受賞 | 明道地区 長砂町自治会 義方地区 義方町自治会 住吉地区 中ノ海1区自治会 | 会長 大櫃 興紀 氏 会長 杵築 俊朗 氏 会長 中村 豊彦 氏 |
| 平成30年度 鳥取県知事表彰 受賞 | 河崎地区 御建自治会 三柳北自治会 福生西一区自治会 | 会長 北村軍次郎 氏 |

和田のトンドさん

毎年、正月が明けた日曜、遠くから神楽の音が聞こえると、十五人の千早に烏帽子（えぼし）姿の神主さん（当番）が、軽トラックに載った神輿（みこし）を先導して、近づいてくる。

家族で玄関先に出て、神輿に宿る歳徳神を拝み、御初穂（おはつほ）を渡すと、御神酒（おみき）とつまみ、ミカンをいただく。神輿は、しめ縄に若松、扇、鯛、するめ、昆布、大根、人参、柿などで飾られている。本来は神社に詣（まい）りに行くのだが、家々に正月の神さんが来てくれるのだからありがたい。

灘（浜）に出ると、十字に組まれた神木が立てられており、根元にはその年の正月飾りが持ち寄られて積み上げられる。町内をまわった神主さんは、トンド場を三周した後、一旦神輿を神社の収蔵庫に戻す。

神主さんが再びトンド場に着く頃には、神木を取り囲むように町内の人たちが集まっている。その年の吉方を神主さんが潮で清めて、火をつけると、積み上げられた正月飾りが一気に燃え上がる。

トンドさんで書き初めを燃やすと書が上達すると言われ、餅やミカンを焼いて食べると病気をしないとされるが、こうして正月の神さんを送り、家族や地域の健康、繁栄を祈念する。今でも毎年の神主さんに大歳番から十四日番まで割り振られているように、かつては大晦日から順番に神輿をその年の神主宅で持ち回り、自分の番になると灘に潮汲みに行つて、神輿や家を清めたという。

和田は他の弓ヶ浜中部の村々と同じく、江戸時代の初めから半ば、弓ヶ浜の北部からの移住者によって開拓されたようだが、その出身地をうかがわせるように、新屋分（上和田）、小篠津分（中）、佐斐神分（下）と三つのトンド講が残る。

市内でも高齢化率上位の和田でも、家族、地域を思つて行うこの行事の伝統を残そうと、各講、工夫して続けられている。



米子市原子力防災訓練に参加して

上後藤2区自治会防災部長 西本 洋二

10月30日、住吉地区、境港市、安来市の原子力防災訓練が行われた。住吉地区の12自治会の内7自治会がUPZ圏内にあり、私たち上後藤二区からは30名が参加した。全部で180人の市民が参加したとのことでした。

当日、エリアメールの受信と防災無線の放送を聞き、帽子をかぶりカップを着用しマスクをして集結場所の住吉小学校に向かった。

集結場所に着くと、名簿確認の後、資料を渡され関係者が立ち並ぶなか、9時に平井県知事と伊木米子市長の挨拶で訓練がスタートした。本日の訓練スケジュールの説明の後、ヨウ素剤の詳しい説明があり、疑似ヨウ素が配布された。

上二自治会だけでバス6号車に乗り込み、中山農業者トレーニングセンターに向けパトカーの先導で出発。到着直後

バスは除染のテントに入り強力シャワーで車体を洗浄。車体の放射能汚染の有無を検査した後、バスを降り避難退域時検査場に入った。中では一人ずつ呼ばれて座り、用紙に氏名等の必要事項を書き検査が始まった。サーベイメーターで頭、手のひら、靴底と測定してその都度基準値以下と記録者に伝えて終わり、避難退域時検査済証を渡された。よくテレビで見ていた検査だが、この訓練を通じて一番緊張した時間だった。

すぐ隣の会場で自衛隊、中国電力、NTT等の展示を観て、人員点呼の後バスは帰路についた。

放射性物質または放射線は五感で感じる事ができず、被ばくを自分で判断できないため適切な対応を取らなければならないが、現実に原発事故が起きた時の恐ろしさを感じた訓練でした。



編集後記

今回の56号は原子力防災訓練と伝統ある弓浜部のとんど祭りを取り上げました。なかでも原発は事故が起きないことを願うばかりです。今年度も多くの記事をお寄せいただきました。ご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。今後とも、ご支援、ご協力をお願いいたします。

編集委員会

| | | |
|-----|----|----|
| 委員長 | 森脇 | 卓夫 |
| 委員 | 田邊 | 忠雄 |
| 〃 | 鷲見 | 均 |
| 〃 | 上田 | 康則 |